

飽浦っ子学力向上プラン

子どもにかかわる『すべての人が総がかり』で飽浦小の学力を保障するプラン

<学校教育目標・学校経営方針等と
関連した具体化案>

<課題と改善に向けた具体的取組>

1年	考えや気持ちを表現したり伝えたりすることが苦手である。 →考えたことを表現する力をつける。
2年	数の概念について理解が難しい。 →具体物操作によるイメージ化を図る。
3年	思考を伴う問題を解く力が低い。 →基礎基本の時間や家庭学習で、文章問題に取り組ませる。
4年	思考力や主体性を問う問題に関して苦手である。 →計算力や読解力をつけ、やり直しまで主体的に向き合わせる。
5年	書く意欲と書く力が低い。 →授業の終末にふりかえりを設定し、表現させる。
6年	言葉の意味や漢字の書き取りなどの、語彙力が低い。 →基礎基本の時間で小テストを行い、知識を深める。

【小学校6年間を通して育てたい子ども】
「えがおいっぱいの子ども」
あかるいあいさつができる子
くふうして学ぶ子
のびのびとたくましい子
うつくしい心根を育む子
らんらんと輝く目で何事にも取り組む子

『チームAkunoura』（すべての人が総がかりで）
一徹底・継続一で子どもは伸びる！

- 校内指導の徹底継続
- 1 そろえる→つなぐ→つながる
4つの約束
- 2 ICT活用を軸とした校内研究の推進
- 3 家庭学習の習慣化
- 4 基礎基本の時間の充実
- 5 あはは運動の徹底

★今年度 数値目標
学期の初めに、全学年・全児童「飽浦小学習・生活ルールブック」を開き、学習スタイルを確認する。

★今年度 数値目標
校内研究で Chromebook を活用した部会授業の全教職員の実施

★今年度 数値目標
学校評価「家庭学習の習慣化を図っている」に児童 100%（7月期 95%）保護者 95%（7月期 87%）

★今年度 数値目標
学校評価「分かりやすい授業を行っている」に児童 100%（7月期 98%）保護者 95%（7月期 90%）

★今年度 数値目標
図書室の年間貸し出し冊数 7500冊をめざす。

◆学習スタイルの確立

- 学習規律の確立
- 「そろえる」の徹底
- ユニバーサルデザインによるどの子も参加できる学習の推進
- ノートの使い方、板書の構造化
- 「めあて」「まとめ」の設定
- ねらいに即した書く活動の充実

◆教師の指導力向上

- 校内研修（「ICTを活用した教育活動の充実」～学力向上に向けたクロムブックの活用～
- あじさいスタンダードに基づく授業
- ・ICT機器の活用（Chromebook）
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析による授業改善

◆学習意欲の向上

- 意欲が高まる授業
- わかる授業
- 個に応じた家庭学習の工夫
- Chromebookを活用した家庭学習の実践
- 学校保健委員会を活用した生活習慣の見直し

◆基礎基本の徹底

- 基礎基本の定着を図る工夫
- ・指導の徹底
- ・繰り返す
- あじさい box の活用
- 補充学習の充実
- ・個別指導
- ・補助学習材活用（AIドリル）

◆読書活動の充実

- 読書タイムの充実
- ・「図書バック」を活用し、いつでもさっと取り出して読書する習慣
- ・目標冊数の設定
- ・全児童「おすすめの本」紹介
- ・図書ファイルの活用

児童の実態<生活>

- 素直であるが、粘り強さに欠ける。
- 基本的な生活習慣や学習規律は身に付けつつある。
- 場に応じたあいさつや言葉遣いの使い分けが苦手である。

<学習>

- 集中して話を聞くことが苦手である。
- 自分の考えや気持ちを伝えることが苦手である。
- 自分の考えを組み立てて考える、表現することが苦手である。

『 学 び を さ さ え る 土 台 づ く り 』
あ く の う ら 大 好 き

◆家 庭◆

- 基本的な生活習慣づくり
 - ・早寝 早起き 朝ご飯
- 学校公開等への参加
- 読書環境づくり
- あはは運動の推進
- 家庭学習の徹底と習慣化
 - ・「Chromebook 学習ルールブック」
 - ・将来を見据えた指導と啓発
- 開かれた学校づくりへの理解
- 育友会・地域と連携した学校行事や教育活動の充実
- 学校だより等による学校理解

◆地 域◆

- 地域行事での道徳性の育成
- 地域の方々の学校教育への協力
- 地域の安全確保
- 地域各団体（自治会、育成協等）の連携